

安全で安心なくらしとまちづくり①

～交通事故や事件を防ぐ～

4年社会 6月～7月 48Q (16時間)
 附属新潟小学校 教諭 大矢 和憲

1 目指す姿

- 公共（安全で安心なまちづくり）の概念を獲得する子ども
- ・総合するだけを用いて、「安全で安心なまちにするためには、警察や地域の人たちが安全や安心を守るだけでなく、市民みんなが法やきまりを守ったり、自分の安全は自分で守ったりして協力することが大切だ」という、公共（安全で安心なまちづくり）の概念を獲得した姿 [(4)ア・イ]

2 単元の計画

	【学習活動】◎学習問題	【働き掛け】	Q
一 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 警察署や警察官の働きに関心を持ち、インターネットや資料で調べる。 ◎警察署や警察官は、どのような仕事をしているのだろうか。 ・警察署や警察官は、市民の安全を守るために様々な仕事をしている。詳しく知りたいことや質問したいことをまとめ、見学の計画を立てる。 ○ 新潟中央警察署へ見学に行く。 ・疑問に思ったことを質問する。 ・見学をして分かったことや驚いたことをノートにまとめる。 ○ 交通事故や事件を防ぐ警察署や警察官の働きを発表する。 ・普段から交通事故や事件の防止に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 警察署や警察官に関するクイズを出し、疑問に思うことや知りたいことを問い、学習問題を設定させる。 ◆ インターネットや資料で警察署の働きを調べさせる。 ◆ 詳しく知りたいことや、質問したいことをまとめさせ、見学の視点をもたせる。 ◆ 疑問に思ったことをインタビューさせる。 ◆ 中央警察署へ見学へ行き、分かったことや驚いたことをノートにまとめさせる。 ◆ 調べて分かった、警察署や警察官の働きを問う。 	15 Q 5 時間
	<p>○ 警察署や警察官が地域や市民の安全を守ってくれている。(公助)</p>		
二 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の人々が、警察署と同じような活動をしている目的や願いを考える。 ・下校途中でこの車を見たことがあるよ。 ・今朝横断歩道で交通誘導をしている人に会ったよ。 ◎警察官じゃないのに、なぜ地域の人たちが警察署と同じような活動をしているのだろうか。 ・ぼくたちが事故や犯罪に遭わないように、活動しているんだよ。 ○ 活動写真を基に、学習問題に対する考えを交流する。 ・地域の人々が事故や事件に遭わないように、活動しているのだから。 ・地域の人々に事故や事件に気を付けてもらうために活動しているのだから。 ○ 地域の人たちに質問して仮説を確かめ、分かったことをまとめる。 ・地域の人たちは、自分たちのまちの安全を自分たちで守ろうと、工夫や努力、協力しているんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「青色防犯パトロールカー」や「地域の人たちの活動」の写真を提示して、疑問に思ったことを問い、学習問題を設定させる。 ◆ 地域の人たちが、登下校時に横断歩道で交通誘導をしているVTRを提示し、子どもの生活経験を問う。 ◆ 学習問題に対する予想をワークシートに書かせる。 ◆ 学習問題についての考えを交流させ、様々な活動の目的を問う。 ◆ 仮説を確かめるために必要な情報や方法を考えさせる。 ◆ 旭水町内自治会の人たちに聞いて仮説を確かめさせ、分かったことを問う。 	21 Q 7 時間
	<p>○ 警察署だけでなく、地域の人たちも協力して地域の人々の安全を守る活動をしてきている。(共助)</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟市内で起きた交通事故の事実(推移)に驚きや疑問を感じ、どうしたら安全で安心なまちになるかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新潟市内で起きた交通事故の件数(推移)と警察署の人の話を提示し、これからみんなで考えたいことを問う。 	【働き掛け1】

二 次

- ・警察や地域の人たちが安全を守ってくれているのに、なぜこんなに交通事故が起こるのだろうか。
- ◎どうしたら交通事故のない安全で安心なまちになるのだろうか。
- 交通事故の原因や結果(統計資料)を調べ、学習問題について考える。
- ・安全不確認やわき見運転が原因の事故が多いから、車を運転する人がもっと注意をして運転する。
- 考えを交流し、妥当性や根拠を確かめる。
- ・制限速度を守るなど、交通ルールを守れば事故は減る。
- ・警察や地域の人々が注意してくれていたことに、いつも気を付ければ事故は起こらない。
- 学習問題についての結論を考える。
- ・地域の人々が交通のきまりを守って生活することが大切だ。
- ・みんなが自分で安全に気を付けることが大切だ。
- 地域の人々の話を聞いて、自分たちの考えの妥当性を確かめる。
- 身の回りにある安全を守るための工夫を調べる。

○ 安全で安心なまちにするためには、警察や地域の人たちが安全や安心を守るだけでなく、市民みんなが法やきまりを守ったり、自分の安全は自分で守ったりして協力することが大切だ。

- 交通事故や事件が起こったとき、どのようなことが行われているかを予想する。
- ・消防車や救急車が来ているので、消防署に連絡が行っている。
- ・テレビで伝えられているので、テレビ局にも連絡が行っている。
- ◎どうして110番するだけなのに、いろいろな人たちに伝わるのだろうか。
- 学習問題についての予想を立て、見学の計画を立てる。
- ・予想を発表し、見学の視点をもつ。
- 新潟県警本部へ見学に行き、事故や事件が起きたときの連携の仕組みを調べる。
- 調べて分かった、警察署と関係機関の連携の仕組みを発表する。

○ 事故や事件が起きたときにも、警察署だけでなく、多くの関係機関が協力・連携して解決している。

- ◆ どのようなことが分ければ学習問題について考えられそうか問う。
- ◆ 交通事故の原因と事故に遭った人が分かる資料を提示し、分かったことや考えたことを、コア・マトリクス表に記述させる。

【働き掛け2】

- ◆ 分かったことや考えたことを発表させ、その妥当性や根拠を問う。

【働き掛け3】

- ◆ (交通事故のない安全で安心なまちにするには、) 一体誰がどうすればよいのか問う。

【働き掛け4】

- ◆ 地域の安全を守る活動をしている人の話を聞かせる。

【働き掛け5】

- ◆ 信号機や横断歩道、歩道の縁石の写真を提示し、これらに共通することを問う。
- ◆ 他にも交通事故防止や防犯のための工夫があるかどうかを問う。
- ◆ 学校の周りを調査させ、気付いた工夫を発表させる。

- ◆ 交通事故の処理を行っている写真を提示し、事故や事件が起こったとき、どのようなことが行われているかを問う。

- ◆ 事故や事件が起こったら、110番することを想起させ、疑問を焦点化して学習問題を設定させる。

- ◆ 学習問題に対する予想をワークシートに書かせる。
- ◆ 詳しく知りたいことや、質問したいことをまとめさせる。

- ◆ どうしたら確かめられそうか問い、見学の計画を立てさせる。

- ◆ 新潟県警本部へ見学に行き、分かったことや驚いたことをノートにまとめさせる。

- ◆ 疑問に思ったことをインタビューさせる。
- ◆ 調べて分かった事故や事件の解決の仕組みを問う。

21
Q
7
時間

12
Q
4
時間

4 準備するもの及び留意点

- 新潟中央警察署・新潟県警察本部(見学先)
- 旭水町内自治会の人たち
- 交通事故や事件の発生件数・交通事故統計資料
- 警察や地域の人たちの活動写真

5 内容の関連

[第4学年] 安全安心
 ○ 中心となる見方や考え方
 : 公共(安全で安心なまちづくり)の概念
 ・ 交通事故防止や防犯の取組について

[第4学年] ごみの処理
 ○ 中心となる見方や考え方
 : 公共(健康なくらしとまちづくり)の概念
 ・ ごみの処理や地域の取組について

[第4学年] 特色ある地域
 ○ 中心となる見方や考え方
 : 公共(地域への思いとまちづくり)の概念
 ・ 県内の特色ある地域の地域活性化の取組について